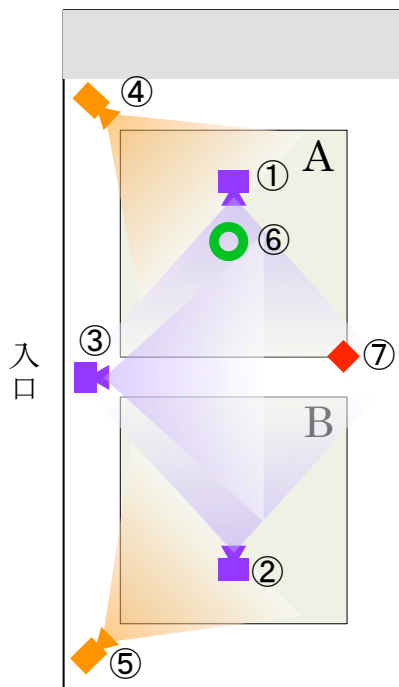


<撮影パターン1：各パフォーマンスの全体を撮ることを優先>



①アクションカメラ

照明用の吊りバーに設置して、Bチームの全体を撮影

②アクションカメラ

照明用の吊りバーに設置して、Aチームの全体を撮影

③アクションカメラ

照明用の吊りバーに設置して、AチームとBチームを合わせて撮影

④ビデオカメラ

カメラマンをつけて、Aチームの様子を適宜撮影（興味深い動きを適宜追いかける）

⑤ビデオカメラ

カメラマンをつけて、Bチームの様子を適宜撮影（興味深い動きを適宜追いかける）

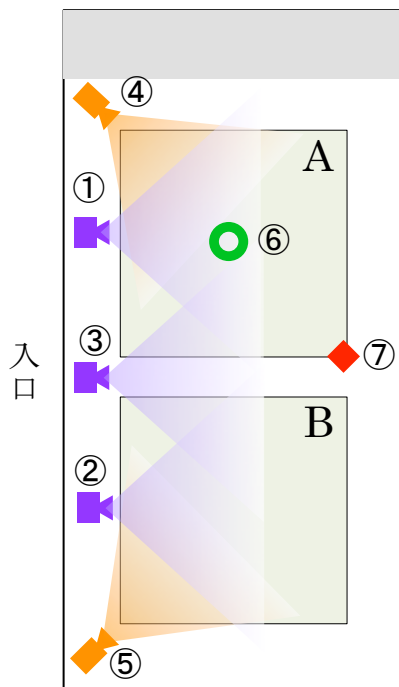
⑥全天球カメラ

天井、もしくは交換番に設置して、360度交換番に迫る人を撮影

⑦メガネカメラ

パフォーマーにつけて、パフォーマーの視線映像を撮影

<撮影パターン2：各パフォーマンスを正面から撮ることを優先>



①アクションカメラ

照明用の吊りバーに設置して、Aチームの全体を正面から撮影

②アクションカメラ

照明用の吊りバーに設置して、Bチームの全体を正面から撮影

③アクションカメラ

照明用の吊りバーに設置して、AチームとBチームを合わせて撮影

④ビデオカメラ

カメラマンをつけて、Aチームの様子を適宜撮影（興味深い動きを適宜追いかける）

⑤ビデオカメラ

カメラマンをつけて、Bチームの様子を適宜撮影（興味深い動きを適宜追いかける）

⑥全天球カメラ

天井、もしくは交換番に設置して、360度交換番に迫る人を撮影

⑦メガネカメラ

パフォーマーにつけて、パフォーマーの視線映像を撮影

(※正面の方向に合わせて、適宜カメラ位置は修正)

<使用機材について>

●アクションカメラ

GoProなどに代表される、小型で、様々な場所に設置して臨場感のある映像が撮影できるカメラ。テレビ番組などで、出演者のリアクションを撮影するときによく利用されている。今回は、小型で広角なので全体像を撮影するのに使用予定。

(参考：GoPro <http://jp.gopro.com/>)

●全天球カメラ

手軽に360度全方向を撮影できるカメラ。今回は、交換番に四方から迫るパフォーマーを撮影するのに使用予定。

(参考：RICOH THETA <https://theta360.com/ja/>)

●メガネカメラ

超小型で、メガネのフレームに埋め込まれたレンズで撮影するカメラ。今回は、パフォーマー目線での映像を撮影する予定。